

2026 年度入試 化学 (2 月 14 日実施) 解答

計算問題の解答は、途中経過等を省略しています。

一義的な解答が示せない問題については、解答例または出題の意図を掲載しました。

〔Ⅰ〕	1	2						
	2	(A)	Ca	(B)	Sr	(C)	Ba	
		(D)	Be	(E)	Mg	(F)	全員正解とします	
		(G)	Mg(OH) ₂					
	3	(イ)	4	(ウ)	5	(エ)	2	
	4	反応式		$\text{CaC}_2 + 2\text{H}_2\text{O} \longrightarrow \text{C}_2\text{H}_2 + \text{Ca(OH)}_2$				
		発生する気体の化合物名		アセチレン(エチン)				
	5	$9.8 \times 10^{-6} \text{ mol/L}$						
	6	原子半径		$2.0 \times 10^{-1} \text{ nm}$				
		単位格子の一辺の長さ		$4.6 \times 10^{-1} \text{ nm}$				
〔Ⅱ〕	1	X	⑧	Y	⑪	(A)→(B)	⑤	
		(F)→(G)	⑨	(H)→(I)	⑤			
	2	(ア)	蒸発	(イ)	凝縮	(ウ)	融解曲線	
		(エ)	融点					
	3	③						
	4	4.9 kJ						
	5							
		固：固体のみの領域 液：液体のみの領域 気：気体のみの領域 固→液：固体から液体への状態変化が起きている領域 液→気：液体から気体への状態変化が起きている領域						
	6	不揮発性物質が溶解すると液体表面から蒸発						
		する溶媒分子の数が同温・同量の純溶媒よりも減少するため。						
7	気体の二酸化炭素の物質質量		$4.4 \times 10^{-1} \text{ mol}$					
	ドライアイスの質量		5.7 g					

2026 年度入試 化学 (2 月 14 日実施) 解答

〔Ⅲ〕	1	電解精錬				
	2	陰極の化学反応式	$\text{Cu}^{2+} + 2\text{e}^- \longrightarrow \text{Cu}$			
		陽極の化学反応式	$\text{Cu}^{2+} \longrightarrow \text{Cu}^{2+} + 2\text{e}^-$			
	3	沈殿の名称	陽極泥			
		沈殿に含まれる金属	Au Ag			
	4	$7.2 \times 10^2 \text{ C}$				
	5	全員正解とします				
	6	採用する電極	陰極			
陽極の質量減は		不純物の沈殿分を含むが、陰極の質量増は純銅によるため。				
7		$9.5 \times 10^4 \text{ C/mol}$				
8	$1.6 \times 10^{-19} \text{ C}$	電子 1 個がもつ電荷の名称	電気素量			
〔Ⅳ〕	1	(a)	銀鏡反応	(c)	ヨードホルム反応	
	2	E	$\begin{array}{c} \text{CH}_3 \quad \text{O} \\ \quad \\ \text{CH}_3 - \text{C} - \text{C} - \text{OH} \\ \\ \text{H} \end{array}$	H	$\text{CH}_3 - \text{CH}_2 - \overset{\text{O}}{\parallel} - \text{C} - \text{CH}_3$	
		M	$\text{CH}_3 - \text{CH}_2 - \text{CH}_2 - \overset{\text{O}}{\parallel} - \text{C} - \text{OH}$			
	3	N	$\text{CH}_3 - \text{CH}_2 - \overset{*}{\underset{\text{Br}}{\text{C}}} - \underset{\text{Br}}{\text{CH}_2}$			
	4	I	$\begin{array}{c} \text{CH}_3 \quad \quad \quad \text{CH}_3 \\ \diagdown \quad \quad \diagup \\ \text{C} = \text{C} \\ \diagup \quad \quad \diagdown \\ \text{H} \quad \quad \quad \text{H} \end{array}$			
	5	4.0 g				
6	B					